

■ヒップホップ

1970年代にニューヨークの黒人街の若者たちの間で生まれ、その後世界的に波及し、影響を及ぼし続けている総合的文化

●ヒップホップの構成要素

グラフィティ
ブレイキング(ブレイク・ダンス)
DJ
MC(ラップ)

●ヒップホップの精神

本来は 都会の貧しい地区に住む 黒人少年たちの自己主張
社会に対する不満やいらだちの発露
自己顕示の道具: respect、バトル

●ヒップホップの初期の歴史

1970年代前半: グラフィティが行われ始め、少年たちのグラフィティ集団があちこちでできる
1970年代前半: ブレイク・ダンスがクラブなどで行われ始める
1973年: クール・ハークがジャマイカ風サウンドシステムで DJ 開始、ブレイク・ビーツの手法を開発
1974年: グラフィティがニューヨークの地下鉄で広く見られるようになる
1970年代中頃: グランドマスター・フラッシュの周辺からスクラッチ手法やMCによるラップが始まる
1970年代後半: DJバトルが盛んに行われ、MCが注目を集める。ブレイク・ダンスのバトルも流行。
1978年: 音楽産業界が「ラップミュージック」という用語を用いるようになる
1980年: カーティス・ブローがヒップホップ・アーティストとして初のテレビ出演
1981年: ビースティ・ボーイズ結成
1982年: グランドマスター・フラッシュの「ザ・メッセージ」がチャート4位になる
1982年: アフリカ・バンバータが世界ツアー
1986年: Run-DMC がエアロスミスの Walk This Way のラップ版を演奏、本人たちと競演して MTV に登場

◆グランドマスター・フラッシュ

&ザ・フューリアス・ファイヴ

「ザ・メッセージ」 1982

そこら中に飛び散ったガラス
階段はジョンベンだらけ
だが、みんな平気になってる
オレには耐えられないよ、
こんなニオイ、こんなノイズ
だけど出ていく金もない、選べる余地もない
表の部屋はネズミだらけで、
裏の部屋はゴキブリだらけ
通りにはバットを手にしたジャンキーたち
逃げようとはするが遠くには行けない
車はレッカー車に持っていかれちゃったからな

オレを追いつめないでくれ、
もう切れそうなんだから
何とか冷静でいようとするんだが
アハ、ハ、ハ、ハ
ここはまるでジャングル、おれにはわからない
沈まずにいるにはどうすればいいのか

◆N.W.A

「ストレイト・アウタ・コンプトン」

1987

コンプトンから出てきた
頭のおかしいニガーがもう一人
オレがカモを消すたびに、
オレの評判は上がって
オレはとんでもないマザファッカだ、
覚えておけよ
だがチンケなニガーにや、ここまではできねえ
どうでもいいけど、
オレは欲しいものは手に入れる
レコードが無理なら客から
いただき(ジャッキン)だ
盗みのことよ、ジャッキンてのはな
法にしたがって武器を持つのは
パッキンってえんだ
マザファッカはすぐに撃ってやるし
具合のいいブッシーはすぐにやってやる

●その後

さまざまなジャンルと影響を与え合い、また融合しながら芸術的に成熟
今やもはや「ストリートの音楽」ではない →メッセージ性の喪失
→ポップス全体に浸透